

令和元年度 歳末たすけあい・地域福祉募金



みんなでささえあう あったかい地域づくり

-募金は『簡単に・今すぐできるボランティア』です-

◆ 募金は… 私たちが住んでいる地域の 福祉を進めるために 役立てられます。

歳末たすけあい運動は… 共同募金運動の一環として行われます。

地域の住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設やその他の関係機関・団体の協力により、募金活動が実施されます。

募金は、支援を必要とする人たちが“地域で安心して暮らす”ことができるように、住民の理解を得ながら、住民参加による様々な福祉活動の展開に使われます。

平成 30 年度「歳末たすけあい・地域福祉募金」 総額 2,248,284 円 でした

実施された地域活動の一例〈福祉活動助成事業〉

♡「親子でアートサロン」 ひばりが丘わくわくアートサークル

臨床美術士とともに、楽しみながら障がいのある子、ない子それぞれ夢中になってアート制作を行っています。制作後は、子どもは自由に遊び、親はリラックスして、会話を楽しんでいます。子育てをする中で、親子が笑顔で過ごせるための手助けの場となるよう、今後もあたたかい会に育てていきたいと思います。この場をきっかけに、交流の場が広がるといいですね。



♡「西原町・芝久保町地区要配慮者対応訓練」

西原町・芝久保町地区要配慮者対応訓練実行委員会

避難所での要配慮者対応訓練に向けて、講義(1 回)、グループワーク(2 回)を実施し、災害時に要配慮者が置かれる現状を知り課題を共有。実際に田無 3 中で避難訓練を行った後振り返り、課題共有(2 回)をしました。助成事業のおかげで、避難所、福祉関係者、地域住民が活動を通じて連携する第 1 歩を歩むことができました。各人、各団体が災害対応だからでなく共助し合える交流を深めていきます。この活動をつうじて普段からの地域のつながりが深まるといいですね。



平成 30 年度の募金配分内訳(令和元年度事業で活用)

事業名	内容	金額
■地域福祉活動助成金	地域で活動するグループや団体の活動を支援するために	700,000円
■小地域活動事業 ふれあいのまちづくり	小学校区単位で、安心して暮らせるまちの実現を目指して進めている「ふれあいのまちづくり」の、活動充実のために	525,000円
■広報事業 普及・宣伝	社協だよりで、皆さんに必要な情報をお届けするために	434,000円
■自立支援事業 在宅福祉サービス	困った時、住民の助け合いで、家事の支援をするために	88,000円
■災害時による被害者支援事業	市内で被災された世帯への、生活物資を支援するために	80,000円
■人材育成事業 福祉有償運送運転者講習会	福祉移送サービス従事者の運転者育成のために	81,000円
■車椅子貸出し事業	怪我などで一時的に車いすが必要になった方のために	62,000円
■社会資源整理・情報発信プロジェクト	分かりやすい社会資源情報(主に市内のサロンの活動情報)発信の為	54,000円
■事務費 広報、郵送料等の経費	募金活動を実施するために	224,284円

*募金の詳細は… 赤い羽根共同募金データベース「はねっと」にて、西東京市をご覧ください。

<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

【お問合せ先】社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会

〒188-0011 西東京市田無町 5-5-12 福祉支援課サービス提供係

歳末たすけあい・地域福祉募金 担当 花井・中澤

☎ 042-497-5071 FAX 042-497-5230

